

中部ESD拠点運営委員会（第34回）議事メモ

日 時 平成23年7月5日（火）18時30分～20時35分
場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C教室）
出席者 竹内委員長、新海、宗宮、高山、黒岩の各委員
事務局 古澤、岡本
オブザーバー 浅田、荻原

議 事

1. 報告事項

古澤事務局員より、第1回目の「ESDの10年・世界の祭典」に関わるRCEグループの事業化ワークショップの参加報告があった。

6月26日に、宮城教育大学において、前日25日のESD-J全国ミーティングと併せて開催された。本事業化ワークショップは、「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラムの主催で、地球環境基金の助成を受けて開催されるもので、今後は6つのグループ（RCE、NPOやNGO、開催地、ユネスコスクール、サイバープロジェクト、CSR）に分かれてワークショップを行い、8月と9月に全体ワークショップを開催する予定。午前中は、主として被災地からの報告と今後の連携の模索、午後は、2014年に向けてのRCEの動きについて議論した。

2. プロジェクトの進捗について

サイバー対話の進捗状況について古澤事務局員から報告があった。

中部ESD拠点推進会議のメンバーを中心に、現在第2期サイバー対話のコンテンツに関して議論が進んでおり、また、中部ESD拠点推進会議が地球環境基金の助成を受けることになり、サイバー対話とも内容的に重なる部分があるため、助成事業との連携や棲み分けについて検討されているとの報告があった。

高山委員より、オブザーバー参加の荻原三重大学教授が紹介され、中部ESD拠点でも、以前に伊勢三河湾流域—80プロジェクトなどで課題のひとつとして取り上げたエネルギーの賦存量などに関するプロジェクトの紹介があった。荻原教授より、「物資収支最小化社会への展望」についての研究の紹介があり、関心のある研究者を募っている旨が報告された。各委員からは、中部ESD拠点としては、日本全国を対象とするより、愛知・岐阜・三重の伊勢三河湾流域圏に着目したい、といった意見や、知人の研究者を紹介する、といった意向が表明された。今後、すぐにこのプロジェクトをESD拠点のプロジェクトとして位置付ける、ということではなく、協力者の発掘や意見交換などの連携を図ることとした。

3. 2014年最終年會合に向けた準備について

国連「ESDの10年」最終年會合の開催地を決めるため、6月10日から30日までの間、文

部科学省から全国の都道府県および政令指定都市に対して公募があった。

愛知県・名古屋市は開催提案書を30日に文科省に提出し、最終的に、北海道・札幌、浜松市、愛知・名古屋、神戸市、岡山市、北九州市、大分県が名乗りをあげた。提案書には、先回の運営委員会で議論した通り、誘致が決まった際には、今後、中部ESD拠点を中心に、愛知・名古屋のESDの推進体制を整えて、活動を行う旨が明記されている。ついては、今後、中部ESD拠点としてどのように対応していくかを以下の通り、種々議論した。

- ・誘致が決まると仮定してこれから考えなければいけない。中部ESD拠点参加団体にどう呼びかけていくか、など。
- ・前回の運営委員会で8月20日にロードマップを作成するワークショップを開催するという案が出たが、9月3日にEPO中部が実施するESDの会合と共催で実施してはどうか。
- ・このワークショップは、9月17・18日につなげるという考え方で良いと思う。
- ・今週末にESDJがロードマップを作るのでこれも念頭にいれたい。
- ・学校関係者、集める必要があるが、当てはあるか。岡崎市で盛り上がってきている。
- ・愛知学長懇話会でユネスコスクールの立ち上げを大学がサポートする、という呼びかけを飯吉拠点代表・中部大学理事長にお願いすることも確認する。
- ・2014年の最終年会合では何がアジェンダか。COP10は、結果指標、努力指標などがあり、わかりやすかったし、ステークホルダーの利害関係があるため、対立もあり、盛り上がりがあった。
- ・ESDは雲の上の議論、ばらばらな議論じゃなくて終着点が見えた中で、いろいろファクターを出して、選択肢を出して、オルタナティブをいかに出すかが大切。
- ・愛知県・名古屋市の提案書には、教育ツールを作ると書いてあるので、その実働部隊をどのようにつくるか。
- ・コアグループを作ってから、拠点参加団体メンバーに「この指とまれ」方式で手を挙げてもらうということかどうか。

以上の議論から、7月を目途に竹内委員長が愛知県などと相談して10名程度のメンバーを決めてコアグループをつくり、その後、サブメンバーを拠点協議会参加団体から募集することとなった。

4. 地球市民フォーラム2011の開催について

古澤事務局員より、9月17・18日に開催される「ESDの10年・地球市民会議2011」に関する開催案が報告された。

開催案は、主催者である「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラムが作成したもので、先回の運営委員会で議論された中部ESD拠点からの提案が盛り込まれた内容である。17日のシンポジウムでは、開催地を代表して、中部ESD拠点より竹内委員長がパネルディスカッションに登壇する方向で調整されている。同日に、中部大学では地理情報システム(GIS)とESDをテーマにした国際シンポジウムが開催されるが、夕方の懇親会には合流予定。飯吉

中部E S D拠点代表の挨拶は懇親会内で企画されている。翌日 18 日は愛・地球博記念公園で午前中に分科会を開催し、午後に全体会を開催予定。昼の昼食およびサイドイベントの企画は中部E S D拠点が担当することとなった。

5. その他

- 1) 中部E S D拠点協議会への参加同意書が、「平和教育地球キャンペーンNAGOYA」から届いており、満場一致で中部E S D拠点協議会への参加が承認された。
- 2) 次回中部E S D拠点運営委員会（第 35 回）は 2011 年 8 月 2 日(火)18 時半からとする。

以 上